

岐阜県職員倫理憲章 岐阜県立不破高等学校実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県教育委員会事務局職員等倫理規定」の内容を実践していくために、下記のとおり岐阜県立不破高等学校実行計画を定めます。

平成28年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 過去の不祥事案を題材に、職員研修を実施し、公務、私生活を問わず、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が課せられている現実について、職員の認識を深めます。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 会計規則はもとより、「公費・私費負担区分等ガイドライン」を遵守し、適正かつ効率的な会計事務の執行に努めます。
- 事務用品の在庫管理の徹底・再利用の促進や、両面・縮小コピーの積極的な活用などにより、事務経費についても一層の縮減に努めます。また、無駄な光熱水費の削減に努めるとともに、環境教育の充実を図ります。
- 職員に時間管理の重要性を徹底するとともに、職員間における仕事量の均一化や事務の効率化の促進等により、時間外勤務の縮減に努めます。また、「早く家庭に帰る日」への積極的取組など職員の早期帰宅に努めます。

3 学校職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 日頃から、すべての職員が校務に関連した研修等に取り組み、専門的な能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。
- 生徒に応じた授業改善の研究・実践に努め、地域に愛される開かれた学校づくりを目指します。
- 業務に直結する研修はもとより、総合教育センターが実施する研修への参加を促し、豊かな教科指導能力と生徒指導能力を備えた人材の育成に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 各種危機管理マニュアルを参考にしながら、想定される事案事に連絡方法や役割分担を定めるなど、学校内の危機管理体制を整備します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く事故等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- 不審者侵入対応訓練や救急・救命訓練を行い、職員の危機管理意識の向上に努め、不測の事態に備えます。
- 既存施設の保守点検に努め、安全管理を徹底します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、学校長の統一的指揮のもと、緊急連絡網等により直ちに全職員への情報伝達を完了し、速やかな情報収集・報告・分析や応急対策により、被害の拡大防止、2次災害の防止等の実施に当たります。また、保護者等への情報提供を速やかに行います。
- 危機管理広報事案については、県教委と連携を図りながら、「岐阜県危機管理広報マニュアル」に沿って、透明・正確・迅速な情報発信に努めます。
- 問題が発生した原因の究明や、再発防止策の構築に当たっては、多面的・多角的に検討を行う視点から、プロジェクトチームを立ち上げて対応します。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 職員会議を月1回以上、学年会を週1回以上実施し、校務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 良い情報はもとより、不都合な情報については速やかに上司へ報告します。
- 管理職員は、定期的に職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み事等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気作りに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・地域での活動に積極的に参加します。
- ・環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- すべての職員が一つ以上の地域活動等、例えば地元の消防団や自治会等への積極的参加や、ボランティア活動等に参加するとともに、活動から得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックします。
- 地域や施設等で行われる行事や活動に生徒とともに積極的に参加し、地域や社会に貢献できる学校づくりを目指します。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組めます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 情報発信については、学校ホームページやマスコミなどあらゆる広報媒体を活用し、学校運営に関する情報や生徒の活躍する姿を保護者や地域等に適時・的確に提供します。
- 将来の岐阜県を担う人材を育てるために、生徒・保護者や地域住民等から学校への意見・要望を聴き取り、日々の教育実践に活かします。